

図書館だより 12月号

図書館利用時間:平日(開校日)午前9時～午後4時

12月の「読書会」は 12月 11日(木)13 時 30 分からです。

今月の『図書館だより』は、先月11月に行われた読書会の風景をお届けいたします。そろそろ今年も余すところ一ヶ月となり、村民の皆さんも漬物などでお忙しいようで、出席者は6名でした。

出席者の中に、前日行われた村と長野県立大学との包括協定の枠組みの中で開催された『ドングリ拾い』に参加した人がいました。読書会当日には、小学生とで「どングリを使ったおかし作り」も授業として行ったそうです。そんな話をしている途中、ちょうど、隣の「まほろば珈琲」にその大学生3名と教授が来ているということが分かり、急遽、その4名を読書会にお招きしました。王滝村の郷土料理について、様々な角度から質問や意見が飛び交い、楽しい会となりました。

「そもそも、包括協定って何ですか?」「王滝村でどんな活動をしているのですか?」などの質問の他に、「先生じゃなくて、学生の皆さんはどんな感想をお持ちですか?」という問いもあり、それぞれ3名の学生が自分の考えを話してくれました。普段、村民とあまり接点のない学生たちの言葉を聞くことができました。3名の学生は全員が3年生でこれから卒論にとりかかるそうです。一人が「どングリについて」あと二人は「鯉の食文化」と「おやき」だそうです。

その他、出席者の中に薩川さんがいたので、風水についての質問が出ました。図書館にも風水関連の本があります。家庭の中で出来る風水の観点から留意するところなど、初歩的なことを教えて欲しいという要望がありました。今後、また、時間が合えば、簡単に読書会の雑談の中でお話いただけるそうです。興味のある方は、ぜひ、お立ち寄りください





最後に、もう一つ、ご報告があります。

図書館の本の中には様々な手芸の本があります。それらの本を参考にしながら、これまで要望があった「毛糸を使って編み物を楽しもう会」が11月26日の午後、図書館で開催されました。

初心者の方からベテランの方まで、各自がそれぞれの作品作りに夢中になり、和やかな時間を過ごしました。本を読んだだけではわからないところを教えてもらえるのは、とても楽しい時間で勉強になりました。「今回は予定が合わなかったのですが、ぜひ次回、参加したい」との声も出ていますので、また、計画するつもりです。

皆さんのご意見を聴いて、試行錯誤しながら、これからも村民の方が気軽に立ち寄れる場所として皆さんから愛される図書館になればいいなあと考えております。

村図書館（学校図書館内）ご利用案内

-  村民の方ならどなたでも無料で利用できます。
-  まほろばコーヒー入口または学校正面玄関から直接、図書館にお進みください。
-  貸出手続きなど図書館でご説明しますので、お気軽にお越しください。
-  お子さん向け絵本もたくさんあります。ぜひ、ご一緒にお出かけください。

